

<p>コントラリアン</p> <p>ポジティブ： 株式のコールと指標となる主要な数字が、コンセンサス予想を大幅に上回っている/強気である。</p> <p>ネガティブ： 株式のコールと指標となる主要な数字が、コンセンサス予想を大幅に下回っている/弱気である。</p>
<p>ディスラプション</p> <p>ポジティブ： 少なくとも一業界において、事業パラダイムを大幅に変更したか、もしくは変更する可能性がある企業。</p> <p>ネガティブ： 競合他社のディスラプティブなイノベーション（新技術、新ビジネスモデル、新機能など）リスクにさらされている企業。</p>
<p>電気自動車(EV)</p> <p>ポジティブ： 電気自動車や補完製品（バッテリー、化学製品、テクノロジーハードウェア、ソフトウェア等）の開発・製造を通じて、電気自動車の普及による恩恵を受けることが見込まれる企業。</p> <p>ネガティブ： 1）引き続き化石燃料に戦略的重点を置く旧体質の企業、もしくは2）再生可能エネルギーへの対応力の低さや、技術的煩雑性への対応力不足により、化石燃料からの移行が遅れていると考察される企業。</p>
<p>市場シェア</p> <p>ポジティブ： 短中期的に(向こう1 - 2年で)大幅な市場シェア拡大の機会が見込まれる企業。</p> <p>ネガティブ： 短中期的に(向こう1 - 2年で)市場シェアを喪失するリスクがある企業。</p>
<p>新データ時代</p> <p>ポジティブ： データを中心とする新時代のサイクルにあって、新技術（IoT、AI、VR/AR、自動化）の少なくとも1つにおいて主要プロバイダーとなることが期待される企業。</p> <p>ネガティブ： 1）既存技術への注力を戦略的に重視し続ける旧体質の企業、もしくは2）新技術への不十分な投資と対応能力の低さにより、既存技術からの移行が遅れていると考察される企業。</p>
<p>価格決定力</p> <p>ポジティブ： 投資シナリオに、短中期的な（向こう1 - 2年）価格決定力の行使が含まれ、これが株価バリュエーションを支える十分な要因となる。</p> <p>ネガティブ： 投資シナリオに、一時的、あるいは構造的に価格を引き上げられない要因が含まれる。</p>
<p>再生可能エネルギー</p> <p>ポジティブ： 再生可能エネルギー（太陽光や風力など）の発電、配電、備蓄設備に多額を投資しており、代替エネルギー需要の高まりにあって成長が見込める企業。</p> <p>ネガティブ： 1）引き続き化石燃料に戦略的重点を置く旧体質の企業、もしくは2）再生可能エネルギーへの対応力の低さや、技術的煩雑性への対応力不足により、化石燃料からの移行が遅れていると考察される企業。</p>
<p>長期成長</p> <p>ポジティブ： 当該企業の主な収益源となる事業は、マクロ経済環境の影響を受けにくい。</p> <p>ネガティブ： 当該企業の主な収益源となる事業は、長期的なトレンドの影響を受けやすく、経済活動や業界、ビジネスモデルに混乱を来し、再構築を余儀なくされる可能性がある。</p>
<p>自助努力</p> <p>ポジティブ： 株主還元を促す、経営、ガバナンス、戦略、資本構成の変更といった社内施策を講じている企業。</p> <p>ネガティブ： 価値創出のためのアクションを経営陣がほとんど、もしくは全く講じていない企業。</p>
<p>スペシャル・シチュエーションズ</p> <p>ポジティブ： 現在起きているもしくは今後予想される出来事（事業売却、買収、合併など）が当該企業のバリュエーションにポジティブとなることが見込まれる。</p> <p>ネガティブ： 現在起きているもしくは今後予想される出来事が、当該企業のバリュエーションにマイナスとなることが見込まれる。</p>
<p>技術の普及</p> <p>ポジティブ： 生産性の向上と競争優位性の改善に向け、技術の習得に多額の投資を行っている企業。</p> <p>ネガティブ： 技術分野への投資が不十分で、業務の効率化や生産性向上、コスト削減を達成できていない企業。</p>